

しづかわスポーツクラブの設立について

企画部スポーツ課

- 1 しづかわスポーツクラブ設立趣意書・・・・・・・・・・・・・・・・P 1
- 2 しづかわスポーツクラブ役員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・P 2～P 3
- 3 平成29年度しづかわスポーツクラブ事業計画・・・・・・・・P 4～P 6
- 4 会費及び教室受講券等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 7

しぶかわスポーツクラブ 設立趣意書

渋川市では、他の多くの自治体と同様に、少子化による中学校運動部活動の部員数の減少や高齢化による医療費の増加、地域コミュニティの衰退などの問題が顕在化しています。また、これまで「一市民一スポーツ」の実現を目指して様々な取組を行ってまいりましたが、レジャーの多様化やスポーツを取り巻く環境の変化などの理由から、なかなかスポーツ振興の拡大が図られない状況があります。

このような現状の中で、これらの課題を解決するため、「一市民一スポーツ」の具現化を図ることや、スポーツを通じた市民の健康づくりを推進することが必要ではないかと考えました。

特に、次のような具体的な課題の解決を図りたいと考えています。

①多種目のスポーツ教室を開催することにより、誰もが希望する種目をいつでも自由に選択することができるようになり、市民のニーズに応えるとともに、市民の健康づくりや体力向上に貢献できます。このことにより、健康寿命の延伸に寄与します。

②幼児や児童が多種目のスポーツを体験することにより、将来においてスポーツをするきっかけとなります。また、多種目の教室を専門性の高い指導者が指導することによりスポーツを楽しむことができる環境整備を図り、積極的にスポーツをする子どもとそうでない子どもの二極化の解消を図るとともに、スポーツを通じた青少年の健全育成を図ります。

③中学校の生徒が、希望する種目の運動部活動を実施できない状況にあることから、中学校区を越えた運動部活動を支援することにより、子どものスポーツ機会を確保します。

④地域の既存組織と連携して、だれもが参加できるスポーツイベント等を実施し、スポーツを通じた地域住民の交流と世代間・親子の交流を促進することにより、地域コミュニティを構築し、地域の活性化を図ります。

これらを実現するため、子どもから高齢者までのすべての市民（市内在勤・在学含む）のスポーツ活動を奨励し、「一市民一スポーツ」及び「いつでも、どこでも、だれでも」を合言葉に、市民の健康づくりを推進するとともに、地域に根ざしたスポーツ環境づくりを進め、青少年の健全育成、地域の活性化に寄与することを目的に『しぶかわスポーツクラブ』の設立を考えました。

『しぶかわスポーツクラブ』の設立趣旨をみなさんにご理解いただき、ご賛同いただければ幸いです。

平成29年5月16日

しぶかわスポーツクラブ設立準備委員会 委員長 水沢 淳

しぶかわスポーツクラブ役員名簿（会長・理事・監事・顧問・参与）

	役職名	氏 名	選出団体等	備 考
1	会 長	田 中 猛 夫		副市長
2	理 事 長	水 沢 淳	渋川市体育協会	市体育協会会長
3	副理事長	石 橋 薫	渋川市スポーツ推進委員協議会	市スポーツ推進委員協議会長
4	副理事長	石 田 正	渋川市体育協会	市体育協会副会長
5	理 事	村 上 尚	渋川市体育協会	市体育協会副会長
6	理 事	外 丸 明	渋川市体育協会	市体育協会会計
7	理 事	千 明 幸 雄	渋川市体育協会	市体育協会子持支部理事
8	理 事	田 子 博 雄	渋川市体育協会	市体育協会会計
9	理 事	堀 口 安 夫	渋川市体育協会	市体育協会北橋支部専門部長
10	理 事	田 子 誠 一	渋川市スポーツ推進委員協議会	市スポーツ推進委員協議会副会長
11	理 事	三 橋 美知子	渋川市スポーツ推進委員協議会	市スポーツ推進委員協議会会計
12	理 事	大 矢 勝 恵	渋川市スポーツレクリエーション協会	市スポーツレクリエーション協会会長
13	理 事	田 中 義 正	渋川市スポーツレクリエーション協会	市スポーツレクリエーション協会副会長
14	理 事	小 淵 春 男	渋川市スポーツレクリエーション協会	市スポーツレクリエーション協会書記
15	理 事	田 村 勝	渋川市自治会連合会	渋川地区自治会連合会長
16	理 事	永 井 甲子郎	渋川市自治会連合会	伊香保地区自治会連合会監査
17	理 事	角 田 雅 保	渋川市自治会連合会	小野上地区自治会連合会長
18	理 事	佐 藤 富士雄	渋川市自治会連合会	子持地区自治会連合会長
19	理 事	都 丸 政 行	渋川市自治会連合会	赤城地区自治会連合会長
20	理 事	森 田 益 男	渋川市自治会連合会	北橋地区自治会連合会長
21	理 事	西 澤 誠	渋川市中学校体育連盟	市中学校体育連盟会長
22	理 事	狩 野 俊 輔	渋川市小学校校長会	市小学校校長会会長
23	理 事	根 井 勝 広	渋川市中学校校長会	市中学校校長会会長
24	理 事	眞 下 宗 司	障害者団体等	渋川広域障害保健福祉事業者協議会理事長
25	理 事	大 澤 歳 男	障害者団体等	市社会福祉協議会会長
26	理 事	上 條 隆	学識経験者	群馬大学教授
27	理 事	植 松 盛 夫	学識経験者	上武大学教授
28	理 事	石 北 敏 一	学識経験者	スポーツドクター
29	理 事	諸 田 尚 三	市職員	市保健福祉部長
30	理 事	加 藤 順 一	市職員	市企画部長
31	監 事	登 坂 建 一		渋川商工会議所専務理事
32	監 事	荒 井 勉		市会計管理者
33	顧 問	星 名 建 市		群馬県議会議員
34	顧 問	金 子 渡		群馬県議会議員
35	参 与	後 藤 晃		市教育委員会教育長
36	参 与	奈 良 純 夫		スポーツドクター
37	参 与	橋 本 真 也		スポーツドクター
38	参 与	富 沢 仙 一		スポーツドクター
39	参 与	宮 本 隆 司		スポーツドクター

しぶかわスポーツクラブ役員名簿（評議員）

	団 体 名	氏 名
1	渋川市体育協会	林 忠 一
2	渋川市スポーツ推進委員協議会	齊 藤 茂 喜
3	渋川市スポーツレクリエーション協会	齋 藤 由紀子
4	渋川市中学校体育連盟	森 瀬 伸 二
5	渋川市中学校長会	千 明 哲 也
6	NPO法人渋川広域障害保健福祉事業者協議会	飯 塚 秀 利
7	社会福祉法人 渋川市社会福祉協議会	一 場 洋
8	渋川スキークラブ	大 平 雅 之
9	渋川市卓球協会	永 井 正 治
10	渋川市バレーボール協会	茂 木 十 一
11	渋川市スケート連盟	白 石 正 明
12	渋川北群馬剣道連盟	齋 藤 至 孝
13	渋川陸上競技クラブ	石 北 秀 男
14	渋川市サッカー協会	加 藤 広 幸
15	群馬県弓道連盟渋川支部	浦 野 礼 三
16	渋川市バドミントン協会	阿 部 真奈美
17	渋川市空手道連盟	狩 野 政 保
18	渋川市ソフトボール協会	山 内 崇 仁
19	渋川水泳協会	田野崎 謙 一
20	渋川市ラグビー・フットボール協会	後 藤 竜 一
21	渋川市体操協会	高 橋 直 樹
22	渋川市少林寺拳法連盟渋川支部	都 丸 芳 泰
23	渋川市ゲートボール協会	中 野 源 一
24	群馬県テニス協会渋川支部	中 澤 涉
25	群馬県ゴルフ連盟渋川	中 澤 孝 二
26	渋川市グラウンド・ゴルフ協会	富 沢 今朝男
27	群馬県インディアカ協会北毛支部	萩 原 澄 夫
28	群馬県マレットゴルフ連盟渋川支部	狩 野 忠 史
29	渋川市トランポリン協会	今 井 知江子
30	渋川市武術太極拳協会	金 子 悦 子
31	渋川エアロビクス愛好会	町 田 千津子
32	ハッスルズ中村	藤 井 千鈴子
33	渋川フォークダンス愛好会	狩 野 行 雄
34	渋川3B体操愛好会	朝比奈 章 子
35	ダンベル愛好会	山 本 淳 子
36	渋川市スポレック愛好会	高 橋 正 樹
37	渋川市パワーウォーカーズクラブ	猪 熊 正 道
38	渋川市小学校体育研究会	下 境 一 浩
39	渋川市小中学校PTA連絡協議会	眞 下 陽 子
40	渋川市婦人会連絡協議会	野 村 時 枝
41	老人クラブ連合会	五 味 義 雄
42	渋川市スポーツ少年団	中 村 勉
43	渋川市武道振興会	加 藤 厚
44	渋川地区地域安全活動推進協議会	茂 木 弘 伸

平成29年6月 教室プログラム

種目	対象	期間	曜日	時間	内容	講師	場所	参加費
① 健康体操教室 (3B体操)	市民	通年	月	13:00～ 15:00	3B体操とは、「遊びの要素」を取り入れ、3つの用具を使い、音楽に合わせて行うたれでも楽しめる健康体操です。生活習慣病にならないための有酸素運動と同時に、筋力づくりにも役立ちます。	糸魚川 よね子 (日本3B体操協会会員)	子持社会体育館 会議室	教室受講券 2枚
② 水中健康づくり教室	市民	平成29年6月5日 ～7月10日	月	10:30～ 11:30	水の中で浮かんだり沈んだりしたり、ストレッチなどをすることによって、日常では使われない筋肉を使って運動します。水中での運動は、膝への負担が軽減するため、特に肥満傾向の人には有効です。	小林 由美子	ユートピア赤城	教室受講券 1枚
③ スポレック教室	市民	平成29年6月6日 ～6月27日	火	19:00～ 21:00	プラスチックのラケットとスポンジのボールで、バドミントンのコートで打ち合う競技で、ルールはテニスに似ています。運動量は比較的多いが、けがをしにくく、高齢者や子どもにもやさしいスポーツであり、運動不足解消に役立ちます。	市スポレック愛好会 (市スポーツレクリエーション協会)	橘小学校体育館	教室受講券 2枚
④ トランポリン教室	市民	平成29年5月31日 ～6月28日	水	19:00～ 20:00	トランポリンというマットの上でピョンピョン跳びはねることにより、楽しく身体を動かします。トランポリンは全身運動なのでダイエットや運動不足解消に役立ち、体幹も鍛えることができます。	市トランポリン協会	小野上体育館	教室受講券 1枚
⑤ トランポリン教室	市民	平成29年6月1日 ～6月29日	木	10:00～ 11:00	トランポリンというマットの上でピョンピョン跳びはねることにより、楽しく身体を動かします。トランポリンは全身運動なのでダイエットや運動不足解消に役立ち、体幹も鍛えることができます。	市トランポリン協会	小野上体育館	教室受講券 1枚
⑥ ストレッチ・軽体操・ダンス教室	幼児～小 学校2年 生	通年	水	15:30～ 16:30	音のリズムに乗った遊びを取り入れた体操や、親子や友達同士でリズムに合わせたゲームなど、遊びながら身体を動かします。身体を動かしてリズム感を養うだけでなく、自由な表現力や柔軟な感性を情操し、遊びを通じて身体を動かす楽しさが学べます。	朝比奈 章子 (渋川3B体操愛好会)	子持社会体育館 会議室	教室受講券 1枚
⑦ ストレッチ・軽体操・ダンス教室	小学校3 年生～6 年生	通年	水	17:00～ 18:00	歌や音楽のリズムに乗った体操や、人前でのダンス披露、リズムに合わせてゲームなどを行い、楽しく身体を動かします。身体を動かしてリズム感を養うだけでなく、自由な表現力や柔軟な感性を伸ばし、身体を動かす楽しさが学べます。	朝比奈 章子 (渋川3B体操愛好会)	子持社会体育館 会議室	教室受講券 1枚
⑧ ノルディック ウォーキング教室	市民	通年	木	9:00～ 10:00	専用のポールを使った簡単な歩行運動であり、下半身だけでなく、上半身の筋肉など全身を使う運動です。全身の筋肉の90%を使う有酸素運動としての効果があり、専用のポールを使うことにより、膝の関節などの負担が軽減します。	中澤 順子 (全日本ノルディックウォー ク連盟公認指導員)	子持ふれあい公 園	教室受講券 1枚
⑨ 空手道教室	市民	平成29年6月1日 ～6月29日	木	17:30～ 18:30	日本古来の武道である空手道を通じて、機やかな発育、発達を促し、礼儀や規律を学びます。普段の動きではあまり使われない筋肉を使うため、理想的な全身運動となり、バランスの取れた身体をつくることができます。	市空手道連盟	子持社会体育館 サブアリーナ	教室受講券 1枚

種目	対象	期間	曜日	時間	内容	講師	場所	参加費
⑩ ダンベル教室	市民	通年	金	13:30～ 15:30	軽いダンベルを使って、だれでも安全に、いつでも、どこでもできる健康体操です。 筋肉に適度な刺激を与え、基礎代謝を高め、肥満予防や肩こりの解消などの効果があり、あらゆる傷病の改善に役立ちます。	ダンベル愛好会 (市スポーツレクリエーション協会)	市武道館 第2武道場	教室受講券 2枚
⑪ スポーツ吹矢教室	市民	通年	金	10:00～ 12:00	スポーツ吹矢は、5～10m離れた円形の的をめがけて息を使って矢を放ち、その得点を競うスポーツです。 腹式呼吸を使うことにより、精神集中や血行促進、細胞の活性化に役立ち、内臓の臓器にもよい影響を与えます。	県スポーツ吹矢協会	子持社会体育館 会議室	教室受講券 2枚
⑫ パワーウォーク教室	市民	通年	第1・ 3 土	14:00～ 16:00	パワーウォークは、心拍数を基に個人個人の体力や年齢にあつたスピードや歩幅で歩くことを実践するウォーキング方法です。 体力の向上に有効な有酸素運動であり、体脂肪の減少、筋肉の柔軟性を高めることができます。	市パワーウォーカーズクラブ (市スポーツレクリエーション協会)	子持社会体育館 会議室	教室受講券 2枚
⑬ フラ教室	市民	通年	日	10:30～ 11:30	フラは、ハワイの伝統的な踊りのことであり、ハワイアン・ミュージックに合わせて自然を感じながら足腰を動かす運動です。 ゆったりと踊ることにより、心と身体が心地よくほぐれていきます。	藤本 洋子	子持社会体育館 会議室	教室受講券 1枚
⑭ スポーツチャンバラ教室	市民	通年	第1 日	9:00～ 10:00	「チャンバラっこ」と「小太刀護身道」を基にし、エアソフト剣という武器とアクリル製の面という防具によって安全性を確保した運動です。 スポーツチャンバラという競技を通して体力の向上や健康増進を図ることができ、更に、ストレス解消にも効果があります。	齊藤 高弘	子持社会体育館 会議室	教室受講券 1枚

※ この教室プログラムについて、体育協会に所属する競技専門部は短期型(5回から10回程度)の教室となっており、その他は年間を通して教室を実施しますが、7月以降の教室プログラムについては、参加者からの意見を聞きながら調整します。

平成29年度イベント開催計画

事業名	期日等	内 容	対象者	備考
オープンングイベント (芳ヶ平湿地群ハイキング)	5/28	クラブの設立を記念したオープンングイベントとして、2015年5月にラムサール条約湿地に登録された芳ヶ平湿地群(中之条町、草津町)においてハイキングを行う。また、オープンングのため会員相互の親睦を図る。	個人会員	
ウォーキングイベント	10月・3月	会員限定のイベントとして、会員の募集とクラブのPRを図る。	個人会員	
健康講話	7月・2月	市民の健康づくりを推進するため、栄養や睡眠などをテーマとして、医師などによる健康講話を実施する。	個人会員	
無料体験教室	8月・11月	会員の募集とクラブのPRを図るため、渋川地区から北橘地区までの各地区において無料体験教室を実施することにより、広く市民にアピールする。	市民	地区を変えて毎年実施する。

会費及び教室受講券等について

1 会費について

(1) 個人会員	A会員（高校生以上65歳未満）	2,000円/年
	S会員（中学生以下65歳以上）	1,000円/年
(2) 団体会員		3,000円/年

※ 平成29年度会員確保予定数	個人会員	500人
	団体会員	20団体

2 教室受講券について

(1) 高校生以上65歳未満の受講者		
ア	11枚綴りの教室受講券	2,000円
イ	5枚綴りの教室受講券	1,000円
(2) 中学生以下及び65歳以上の受講者		
ア	12枚綴りの教室受講券	2,000円
イ	6枚綴りの教室受講券	1,000円

3 指導者派遣料について

(1)	団体会員は、1時間あたり	2,000円
(2)	会員以外は、1時間あたり	4,000円

4 指導者資格規程について

- (1) 公益財団法人日本体育協会公認の資格または公益財団法人日本レクリエーション協会公認のレクリエーション・コーディネーター資格、若しくは公益財団法人健康・体力づくり事業財団公認の健康運動指導士資格を有している者とする。
- (2) 前項に規定する指導者は、各競技等の統括団体が認定する指導員等資格を有し、かつ所属する競技団体等の責任者の推薦を受けた者とする。

5 クラブへの渋川市の支援について

(1) 嘱託職員人件費（事務局長及びクラブマネージャー）	
	5,109千円
(2) 市補助金	
	677千円